



平成31年4月19日(金) 第3号

《情報モラル教室》に思う



中学生がスマホを持つようになると同時に SNS をめぐるトラブルも発生するようになりました。学校でも、かつては「中学生に携帯電話は不要です!」と指導していた時代もありましたが、それも数年で終わり、今や多くの小中学生がスマホを持つ時代です。もはや、「中学生にスマホは不要です!」などといっても“時代錯誤”といわれそうです。そこで、次は【情報モラル教室】という取り組みが必要になります。この時期、毎年書いている話を再録しましょう。



原始時代の人類は、それまでずっと恐れていた「火」を、なんとかして上手に使いこなそうと努力しました。なにせ「火」は、その扱い方を誤ると火事を引き起こし、大きな被害をもたらします。そのため、自分で火を起こせるようになって、起こした火を上手に管理しなければなりません。やがて人類は、火を上手に管理しながら、使い道によって大きさを調節できるようになりました。「使い方を誤ると大きな被害をもたらす」という点は現代もなお変わりませんが、火が便利な《道具》であることには違いがありません。火を使いこなすことから、人類の文化は大きく発展していったといっても過言ではないでしょう。



スマホ(LINE)のトラブルの話をするとき、「道具を上手に使いこなす」ということを思います。便利な道具であるはずのスマホを上手に使いこなせないことで、トラブルは起きます。たとえば、火を上手に使いこなせない原始時代の人にいきなりマッチやライターを渡したら、きっと大火事を引き起こしてしまうでしょう。それと同じように、“上手にスマホを使いこなせない人”にスマホを持たせたとき、トラブルになるのです。スマホを使いこなすためには、機械そのものの知識だけでなく、やはり「使い方を誤ると大きな被害をもたらす」ということへの【自覚】が必要です。その自覚のない人は、たとえ大人であってもスマホなど持つべきではないのです。これからの現代に生きる私たちは、その自覚をもったとき初めて、便利で豊かな生活を送ることができるのです。この文明の発展、そして、それに伴う私たちの“学び”は、人類の「進化」といえるかもしれません。





61期生の出番です！



この学年だよりが配布される日、放課後には《部活動編成》がおこなわれます。来週には今年度最初の《中央専門委員会》もあります。いよいよキミたち61期生も、正真正銘の“先輩”ということです。これを「61期生時代の始まり」と考えることもできますが、きちんと気を引き締めておかないと「終わりの始まり」になってしまいます。これから“先輩”として活躍するはずの61期生に、忘れてほしくないことを話しておこうと思います。



1年前のキミたちは、どんな気持ちで上級生を見ていたか……。それを考えれば、自分がどうすればいいのかわかるのではないのでしょうか。たとえば、仕事をいいかげんにしている・自分に都合の悪い仕事はやらない・偉そうに威張っている、そんな先輩のことを憧れの目で見つめることがあったでしょうか？ そんな“先輩ぶっている人”なんかより、仕事をサボらない・丁寧に教えてくれる・偉そうにしない、そんな先輩にこそ憧れたはずです。そう思うと、自分がどういうふうに振る舞ったらいいのかわかりますね？ 後輩たちは、キミたち先輩のことを本当によく見ていますよ。手を抜いている先輩なんて、一目でバレバレで、本当にカッコ悪いよ。



これまでに何度も話してきたことを思い出してください。キミたちは“後輩”の存在を意識しすぎてはいけません。とにかく、自分のやるべきことを誠実におこなうことです。それが自然とお手本になっています。《中央専門委員会》についていえば、1年生のときに委員をしていた経験者が何人も委員になっています。そういう人たちは、きっと仕事の内容もわかっていることでしょう。まさに【お手本になるチャンス】です。《部活動》では、今後「後輩が言うことを聞いてくれない」とか「後輩があいさつしてくれない」などと嘆く人も出てきます。でも、そういう人に限って、自分のやるべきことを誠実におこなっていなかったり、偉そうに接していたりすることが多いようです。だから、「後輩のことを意識しすぎてはいけない」というのです。これからが本当に61期生の第2章です！ 61期生諸君、大いに活躍してくださいね！！



保護者のみなさまへ

すでにお知らせしていることと思いますが、来週24日(水)～26日(金)の3日間は家庭訪問をおこないます。今回は希望制ということになりましたが、正直なところ、ご希望されるご家庭が少ないことを複雑な心境で受け止めています。お忙しいこととは存じますが、5月11日(土)には、土曜授業参観(1・2限)・学年保護者集会があります。学年保護者集会では、学年の様子・現状をたっぷりと聴いていただきます。たくさんの方とのお会いできることを楽しみにしています。なお、家庭訪問をされないみなさまも、学校生活のことで気になることがありましたら、いつでも担任までご連絡ください。家庭訪問があるみなさま、来週はよろしくお願いいたします。